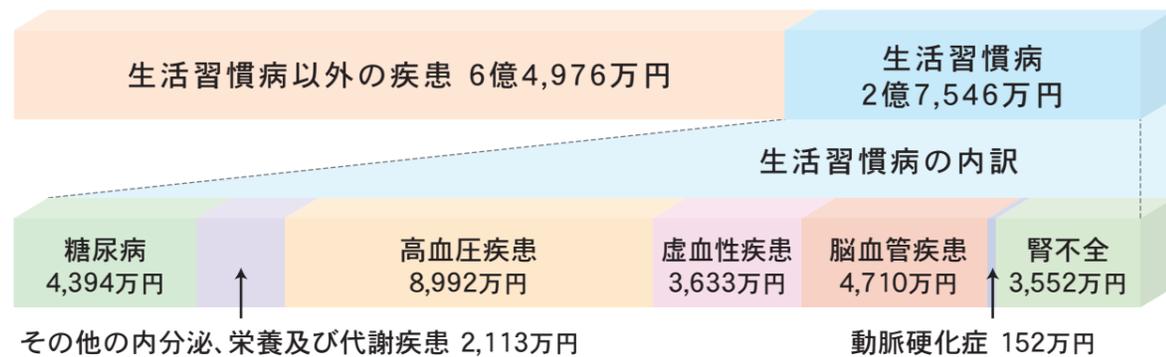


南島原市の医療費全体に占める生活習慣病の割合が増えてきています

40~74歳の人の 南島原市の医療費全体に占める生活習慣病の割合が増えてきています
 現在、南島原市国民健康保険の医療費は年々増加の一途をたどっていて、医療費の中に占める生活習慣病の割合も23%と高く、医療費増加の一つの要因となっています。

医療費の増加は、国保財政を圧迫し保険税の上昇につながる可能性があります。特定健診・特定保健指導を活用し、みなさんが健康になることは、増え続ける医療費の抑制になり国保の安定した運営につながります。

南島原市の生活習慣病にかかる医療費の状況（平成19年5月診療分より）



(単位:円)

疾病別	国保	老人医療	計	比率
糖尿病	2,038万	2,356万	4,394万	4.8%
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	993万	1,120万	2,113万	2.3%
高血圧疾患	3,589万	5,403万	8,992万	9.7%
虚血性心疾患	1,212万	2,421万	3,633万	3.9%
脳血管疾患	1,312万	3,398万	4,710万	5.1%
動脈硬化症	17万	135万	152万	0.2%
腎不全	1,600万	1,952万	3,552万	3.8%
生活習慣病以外の疾患	3億5,584万	2億9,392万	6億4,976万	70.2%
計	4億6,345万	4億6,177万	9億2,522万	100.0%

生活習慣病/月額 2億7,546万円
 年額 33億552万円

生活習慣病にかかる医療費は国保・老人を含めて年間約33億円

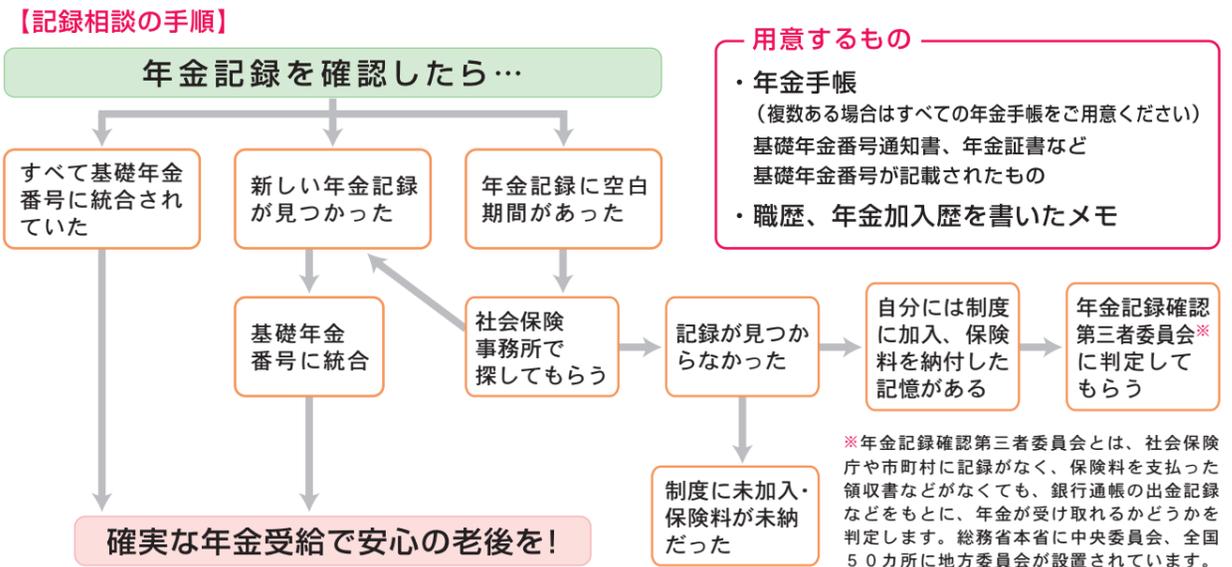
生活習慣病にかかる医療費の比率は約3割となっています

特定健診は受診率（受診者÷被保険者）が24年度までに65%を超えないと、後期高齢者医療制度に支出する支援金が増えるという、ペナルティーが課せられています。このペナルティー分は、国保財源でまかなうことになり、結果的に受診率が低いと国民健康保険税が上がり皆様の負担が増えることとなります。健診は健康を知ること、医療費抑制にもつながり保険税を節減することになります。

お問い合わせ 市民生活部 市民課 保険年金班 TEL050-3381-5040

年金記録の相談はこう受けましょう!

自分の職歴や年金の加入歴を書いたメモを作っておくと、年金記録が要領よく確認できます。また、基礎年金番号に未統合の記録がある場合に見つけることができます。



【お問い合わせによって記録が年金に結びついた例】

- ケース1** 以前、違う会社で働いていた
前の会社で加入していた厚生年金の記録が見つかった
▼平成9年1月基礎年金番号
厚生年金(前の会社) 厚生年金
- ケース2** 今は会社員だが、学生時代は親が国民年金保険料を払っていた
国民年金の記録が見つかり、基礎年金番号に結びついた
▼平成9年1月基礎年金番号
国民年金(学生) 厚生年金
- ケース3** 以前勤めていた会社で加入していた厚生年金の記録が見つからない
名前の読み方を変えて探したら見つかった(例:幸子「ユキコ」を「サチコ」で検索)
▼平成9年1月基礎年金番号
厚生年金(サチコ) 国民年金(ユキコ)
- ケース4** 以前、何度も転職を繰り返した
複数の厚生年金の記録が見つかり、基礎年金番号に結びついた
▼平成9年1月基礎年金番号
厚生年金 厚生年金 厚生年金 厚生年金
※過去に同一の会社の事業所間で転職を繰り返した場合、異なる年金番号で記録管理されている場合があります
- ケース5** 結婚前は別の会社に勤めていた
旧姓と勤務先名で探したら、結婚前の厚生年金の記録が見つかった
▼平成9年1月基礎年金番号
厚生年金(旧姓) 国民年金(専業主婦) 厚生年金
- ケース6** 年金の加入履歴を調べたら
自分でも忘れていた国民年金の記録が見つかった
▼平成9年1月基礎年金番号
厚生年金 国民年金 国民年金 厚生年金
- ケース7** 番号の違う2つの年金手帳を持っていたので問い合わせたら
基礎年金番号に結びついていない年金番号の記録を基礎年金番号に結びつけることができた
▼平成9年1月基礎年金番号
厚生年金(古い年金手帳) 国民年金(新しい年金手帳)
- ケース8** 昔働いていた会社が倒産し、記録はないと思っていたが
探してみたら、その会社の厚生年金の記録が見つかった
▼平成9年1月基礎年金番号
厚生年金(会社が倒産) 厚生年金 厚生年金

お問い合わせ 諫早社会保険事務所 TEL0957-25-1661 または
 ねんきんダイヤル ☎0120-657830 (24時間、土・日曜日も対応)